

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和2年度 第2回佐渡市博物館協議会
開催日時	令和3年2月24日(水) 13時30分開会 15時30分閉会
場所	両津地区公民館 第一学習室
議題等	報告事項 (1) 令和2年度佐渡市博物館・資料館運営事業中間報告 議題 (1) 令和3年度佐渡市博物館・資料館運営事業事業計画 (案) (2) (仮称)文化振興ビジョンについて
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	○佐渡市博物館協議会委員 会長 池田 雄彦 副会長 池田 哲夫 委員 加藤 恭子 萩野 正作 大屋 柳平 伊藤 正一  ○事務局(教育委員会 社会教育課 佐渡学センター) 教育長 渡邊 尚人 課長 市橋 秀紀 センター長 濱崎 賢一 係長 中田 雄一郎 主事 五十嵐 麻湖 学芸員 平野 黎
会議資料	資料No.1 令和2年度佐渡市博物館・資料館運営事業 中 間報告(1月31日現在) 資料No.2 令和3年度佐渡市博物館・資料館運営事業 事 業計画
傍聴人の数	2名
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
濱崎センター長	1 開会 および傍聴の確認、会議成立の確認。
池田会長	2 あいさつ
事務局	3 報告事項 (1) 令和2年度佐渡市博物館・資料館運営事業 中間報告 について説明
池田会長	出前授業を行っているが、博物館に子どもたちが来た実績は ありますか？
五十嵐主事	学芸員が解説を行ったものに関しては展示解説の件数に、ク イズブックを行ったものに関してはクイズブックの件数に入 っています。自由見学であった学校は、入館者総数に含まれて おり、資料には載っておりません。
濱崎センター長	他に質疑がないようなので、「4 議題」に入ります。議題 については池田会長より進行いただきます。
池田会長	それでは、議題に入ります。 (1) 令和3年度佐渡市博物館・資料館運営事業 事業計画 (案) について、事務局説明をお願いします。
事務局	4 議題 (1) 令和3年度佐渡市博物館・資料館運営事業 事業計画 (案) の「1. 博物館・資料館の展示構成と特別展・企画展」 のうち、佐渡博物館について説明
池田会長	「ジオパーク推進協議会と共催」という企画がありました が、各特別展・企画展は、学芸員が単独で行うのか、地域の諸 団体に協力や共催を得て行うのか、どちらでしょう？ 地域と協働することで、博物館がより良くなるのではない か、との声があります。
平野学芸員	本年度、共催として行うのは「佐渡島 大化石展」（共催： ジオパーク推進協議会）のみです。 地域の方々とは、共催という形ではありませんが、資料をお 借りするなどのご協力を得ています。
池田会長	理科教育センターには、過去の自由研究の実績が積み上げら れています。「自由研究展（仮）」などで協力は得ないのしょ うか？
平野学芸員	協力をいただこうと考えておりますが、小規模であるため

	「共催」という形は考えておりませんでした。
濱崎センター長	本年度の共催事業については、平野学芸員から説明のあった通り「佐渡島 大化石展」のみです。現在の組織体制は満足ではありませんが、皆様からのご協力を得て事業展開していきたいと考えております。
池田会長	可能であれば後援をつけるなどして、地域と博物館が協働しているのだと分かるようにするといいなと思います。
加藤委員	「佐渡と名のつく生きもの展（仮）」を、7月でなく、8月に持ってこれたら、子どもたちに良い結果が出るのではないかと思いますのですが、いかがでしょうか？
平野学芸員	「佐渡と名のつく生きもの展（仮）」は1階のスペース全てを使うため、1階のスペース1/4を使う予定の「自由研究展（仮）」との入れ替えは難しいです。ただ、「自由研究展（仮）」の中で生きものについて触れることはできます。
池田会長	可能な範囲で考慮お願いします。
伊藤委員	生物の分類については、由来が難しいところがあります。学識経験者にお聞きして、どなたかが纏めるのでしょうか？
五十嵐主事	確かに、博物館内だけでは難しい内容であると考えています。新潟大学や、地域の有識者の方からご協力をいただきながら進めてゆきたいと考えております。 共催、後援などは中身を詰めてゆく中での調整となります。
伊藤委員	もう一つ、頼みごとがあります。事務局説明の中で「さどがしま だいかせきてん」と説明がありましたが、個人的には「さどしま」だと思っております。 地図上は「さどしま」ですよね。小学校の教科書には「日常的にさどがしまと言うので、さどがしまでもよい」という記載もありますが、博物館として「さどがしま」なのではないでしょうか。
平野学芸員	読み方についての検討はありましたが、ジオパーク推進協議会より「さどがしま」と提案があったため、「さどがしま」となりました。
池田会長	自然系の学術論文では「さどしま」が主流です。化石展は自然系の展示ですので、伊藤委員のご指摘を踏まえつつ、再度ジオパーク推進協議会と調整ください。
(事務局)	(会議後の調整にて、「さどしま」とすることとなった)
池田副会長	「佐渡と名のつく生きもの展（仮）」について、植物にも佐渡の名を冠する種が沢山あります。それらは取り上げるのでしょうか？サドノアザミなど。
五十嵐主事	ご意見ありがとうございます。管轄施設に佐渡植物園もあり

	ますし、友の会の皆様にご協力いただきながらやっていけたらと、今ほどですが考えました。
池田副会長	植物に詳しい方もたくさんおられますし、植物園もありますので、関連施設や有識者と連携がとれたら、と思います。 佐渡には牧野富太郎が来ており、佐渡博には写真もあります。それらを活用し、歴史的な背景を踏まえながら組み立てたらいかがでしょうか。
池田会長	牧野氏は佐渡に来てヤマトグサやオオアカバナを見つけた、という話もあります。それらに触れると、地域の方も興味深いのではないかと思います。
伊藤委員	サドマイマイカブリなど昆虫もありますね。
池田会長	貝類もね。サドキセルガイなど。 まとめとしては、地域の諸団体をうまく巻き込んで、学術的に考慮した企画展示をお願いしたいと思います。 それでは、次の説明をお願いします。
事務局	4 議題 (1) 令和3年度佐渡市博物館・資料館運営事業 事業計画(案)の「1. 博物館・資料館の展示構成と特別展・企画展」のうち、その他施設について説明
萩野委員	新穂は官民一体になってよく頑張っているように思いますし、民間の支援に回れるような良い手本になりそうです。
池田会長	関連して、来年度の各種企画は事務局が練ったものでしょうか？それとも、地域から要請があつて（要望を吸い上げて）行うものでしょうか？
平野学芸員	来年度の企画展については、学芸員が企画を立てております。地域の方のご意見は、反映されていないものになります。
池田会長	次年度以降の課題として、取り組んでいただきたいと思ます。
市橋課長	我々としては、植物園の在り方について一番悩んでいるところではあります。議会からも「植物園を活用してはどうか」と提案はありますが、手が回っていない状況です。 委員の皆様におかれましては、この場でなくても構いませんので、将来に向けてのご意見をいただきたく、ご協力お願いいたします。
池田委員	植物園をより活用する、ということですね。
市橋課長	はい。事務局と話していることとしては、親子で園内の草取り等ボランティアをしてもらい、集まった方達には園内解説するという活動も考えております。

	<p>考えれば色々な形が出てくるかと思えます。この後いつでもよろしいので、アイデアをいただきたいと思えます。</p>
濱崎センター長	<p>来年度は「植物園まつり」というイベントも行う予定です。それらについては、説明後にご質問お願いいたします。</p>
池田会長	<p>県内では「博物館友の会」という組織を作っているところが多くあります。友の会は入館無料ですが、情報を持ってきたり、運営の手伝いをしたりします。</p> <p>先ほどから地域連携という言葉が出ておりますので、ぜひ前向きにご検討ください。</p> <p>それでは、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>4 議題</p> <p>(1) 令和3年度佐渡市博物館・資料館運営事業 事業計画(案)の「2. 各事業」のうち、調査・研究・収集事業の展示解説からワークショップ・イベント等について説明</p>
萩野委員	<p>相川郷土博物館の耐震工事ですが、隣接する展示室(有田八郎記念館)も対象でしょうか？</p>
平野学芸員	<p>利用する補助制度の対象が「世界遺産の構成要素に対する耐震工事」のため、有田八郎記念館は耐震工事対象外です。</p>
池田会長	<p>相川郷土博物館の資料は、一時的にどこかに動かすのでしょうか？資料活用という面でもお教えてください。</p>
平野学芸員	<p>展示室にある資料については、場所未定ですが一旦移し、収蔵します。工事中の公開は考えておりませんでした。</p> <p>協議中のため未確定ですが、相川郷土博物館は鉱山に特化した展示を行う、という方向で動いております。展示している民俗資料、地質資料などについては、展示できるほかの博物館に移動させる方向で考えております。</p>
萩野委員	<p>史跡佐渡奉行所跡は、例年だと相当な人数が入りますが、今年は新型コロナウイルスの影響で少なくなっていますね。</p> <p>博物館が持っている資料を奉行所に持ってきて展示する、というのはできないのでしょうか？</p>
平野学芸員	<p>不可能ではありません。奉行所は、相川郷土博物館の後に改修工事が予定されていますので、そこで展示機能を造設するかは議論しているところであります。</p>
池田会長	<p>世界遺産の国内推薦を受けた時、とても人気が出る施設の一つだと思いますので、工事が始まる際、資料を有効に活用できるよう検討してください。</p>
平野学芸員	<p>工事中に完全閉館するのか、施設の半々ずつ工事して片方を見られるようにするのか検討中です。</p>

池田会長	分かりました。 それでは、次の説明をお願いします。
事務局	4 議題 (1) 令和3年度佐渡市博物館・資料館運営事業 事業計画 (案)の「2. 各事業」のうち、出前授業から「3. 会議の開催」について説明
池田委員	相川郷土博物館の工事終了予定時期はいつでしょうか？
平野学芸員	令和6年まで（工事期間2年間）を予定していますが、設計会社との打ち合わせでは、1年半程度に短縮できる可能性もあるようです。従って、最長2年間の工事期間となります。
池田副会長	相川郷土博物館は「展示含めた耐震改修」とのことですが、工事後、博物館機能は持たせるのでしょうか？また、世界遺産登録後、どのような住み分けをするのでしょうか？
平野学芸員	鉾山に特化した博物館、という特色は持たせます。
池田副会長	世界遺産推進課として行う部分と、社会教育課として行う部分があるかと思えます。鉾山の博物館として特化する工事設計をされていると思いますが、住み分けの話し合いはされているのでしょうか？
平野学芸員	はい。世界遺産推進課と協議しながら展示計画を作っております。
池田副会長	令和2年から令和6年にかけて工事を行うということは、登録後の見通しが立っているということですね。世界遺産登録後、どの課が管理するのでしょうか？
平野学芸員	社会教育課が、工事後の博物館の管理を行います。
池田副会長	どちらが管理するのか、後で揉めないように気をつけてください。 展示にしても、今から展示計画を作らなくてはいけませんよね。また、使わない資料をどこに持っていくか、どのように活用するのか、見合わせながら計画を作ってください。
市橋課長	池田副会長のご指摘は重要なところだと考えております。世界遺産推進課との調整はしておりますが、なかなか噛み合わないところもありますので、その点についてはしっかり考えてゆきたいところです。 どこの課が相川郷土博物館を管理するか、という点は、世界遺産登録後の世界遺産推進課の在り方に関わってきます。 現在は世界遺産に登録されるための課ですが、登録後は、世界遺産をどう保存・活用するか考える課にする、という考えがあるようです。

	<p>登録後には組織編成があるかと思しますので、そこで施設の活用・管理を考えてゆかねばならないと考えております。</p>
萩野委員	<p>この後、奉行所の工事もやると聞いておりますが、相川郷土博物館の工事の案でお話が合ったような、半分ずつ開館できる工事となる予定なのでしょうか。そうすれば、相川郷土博物館の工事の時点で、資料を移せるような（奉行所の）設計にはいかがでしょうか。</p> <p>たとえば、有田八郎記念館も、現在は収蔵施設として使われているようです。世界遺産登録の動きもありますし、令和6年まで待っているよりは、お客様に見ていただける場所に一部でも資料を移し、企画展などをやっていただけるといいですね。皆さまに満足いただけるような状態に、少しでも近付けるよう奉行所を活用してはと思います。</p>
池田会長	<p>人からは「佐渡はすごく良い資料がたくさんあるけれど、どこにどんな資料があるのか全く分からない。」と言われます。絵巻や絵図など、貴重な資料が相川郷土博物館の収蔵庫に入っているわけですが、うまく活用できるよう工夫していただければと思います。</p> <p>ジオパーク推進協議会に調査研究部がありますが、そこでは「佐渡の自然に関する資料があるのは知っているが、どこへ行って見ればよいか？」と言われました。</p> <p>佐渡博物館で資料のリストを作りますよね？それらを、博物館のパソコンなどで見られるような環境を整えてはいかがでしょうか。かつて、佐渡市はデータベース用ソフトを買ったとも聞きます。資料の展示や保管に、ぜひ活用いただきたいと思っております。</p>
伊藤委員	<p>色々な集落で、「ある集落で、このような絵図や絵巻を持っていたはずだが、担当者が変わると分からない。どうやって探せばよいか。」と困っています。過疎化が進み、誰が管理しているか分からなくなっているようです。</p> <p>かなり昔、家を整理した際に出てくる書物は捨てないで博物館に相談してくれ、という活動をしていたようですが、なにか活動を考えないと、貴重なものが無くなっていつているのが事実です。</p>
池田会長	<p>以前、北見秀夫・健彦親子の貴重な書籍を博物館で受け、最低限キープする書籍を抜き出してリストを作りました。それを、動植物を研究の方が利用できない、というのが現状だと思うので、協力しますので、博物館の中だけでも検索できる仕組みを作ってほしいです。</p>

	<p>一括したリストを作っておかないと、災害があった時に称号ができなくて困ります。佐渡の博物館は、災害ネットワークの中に入っていないよ。資料をきちんと管理しておかなければいけないな、と思います。</p>
伊藤委員	<p>私も、北見先生の資料がどこにあるか分からないので、調べ物ができず立ち往生している状態です。生物系の企画を立ち上げ、資料を見ざるをえない状況に立ち入った場合、どう探して実施するんだろうなあと見ております。</p>
池田会長	<p>本間寅雄先生や、佐藤敏夫先生など、佐渡の歴史や文化を調べておられた人の所蔵書籍は、両津郷土博物館に収蔵しています。リストはあるのですが、統一して見れる場がない。眠りつつある資料なので、表に出ると全然違うと思います。データベース化という視点を、ひとつ持ってください。</p>
市橋課長	<p>リスト管理がしっかりできておらず、社会教育課として頭を下げるしかできません。</p> <p>現在、学芸員は若い2人がいて、経験も少ないです。それを言い訳にはいけない、前向きに考えていきたいと思っておりますが、ここにおられる皆様から協力を願いたい、色々教えていただきたいというのが正直なところです。また、博物館に色々聞きに来ていただきたいですし、いらっしゃった時にまた教えていただきたいです。皆様との距離を近くして、学芸員が勉強し、データベース化にも取り組んでいきたいです。</p>
池田会長	<p>今の件も「官民一体」ですね。地域住民をうまく活かすような組織や体制づくりが肝要かと思っておりますので、来年度の大事な柱にしていきたいと思っております。</p>
市橋課長	<p>このお話の流れで。今まで、博物館協議会は年2回開催しておりましたが、様々な事業を行う際に定期的に意見を伺う場としての在り方も検討しておりますので、よろしく願いいたします。</p>
濱崎センター長	<p>事務局から失礼いたします。佐渡博物館の特別展・企画展欄に記載しませんでした。順徳上皇の配流800年記念企画展についての検討もお願いいたします。</p>
池田会長	<p>承知しました。資料に記載はないのですが、令和3年度の企画展として、順徳上皇配流800年記念展を計画しているとのこと。しかし、資料その他が極めて少ない状況での開催となるため、ご意見や助言がありましたらお願いいたします。</p>
濱崎センター長	<p>公立博物館としての開催の可否判断についても、お願いいたします。</p>



池田副会長	展示を構成できる資料はお持ちですか？
平野学芸員	展示資料はほとんどありませんが、佐渡市内に順徳上皇の足跡があるので、その写真や逸話をパネルで紹介するような展示となります。
池田副会長	それは確証のある遺跡なのでしょうか。
平野学芸員	言い伝えの範疇になるかと思います。
池田副会長	<p>私が以前博物館に勤めていた時も講演依頼があったのですが、順徳上皇と日蓮はやめておこう、という話をしていました。研究が進んでおらず、非常に難しいのです。</p> <p>博物館として資料があって、展示構成ができ、批判に耐えられるようであれば、よいと思います。逆に言うと、不確かなことを公共の施設で扱うのは、慎重に考えた方がよろしいのではないのでしょうか。</p> <p>順徳上皇は、和歌や神楽について評価されています。そのような一側面を切り取ることもできるでしょうが、博物館ですので、実物を出すことができるかどうかは重要です。</p>
池田会長	そうすると、慎重に判断したほうがよさそうですね。造詣の深い方に集まっただき知恵を借りるとか、和歌や神楽についての展示を行うとか、検討してはいかがでしょうか。
濱崎センター長	ありがとうございました。色々な方に相談して進めさせていただきます。
池田副会長	瓦も出土しているので、考古学の面から事実確認をしてもよいかと思います。
池田会長	<p>それでは、次の議題に入ります。</p> <p>(2) (仮称) 文化振興ビジョンについて、事務局説明をお願いします。</p>
事務局	<p>4 議題</p> <p>(2) (仮称) 文化振興ビジョンについて説明 (要旨)</p> <p>文化振興ビジョンは、平成 22 年に策定され、平成 28 年に終了している。我々の課題は、文化財の取り扱いである。</p> <p>平成 23 年、文化財室が教育委員会から世界遺産推進課に移るとき、有形・無形、指定・未指定の文化財をどこの部署が管轄するか、話し合いができていなかった。無形は佐渡学センターが、有形は世界遺産推進課が管理することになっているようだが、佐渡の文化振興の方向が定まっていない状況なので、早急にビジョンを策定する必要がある。</p> <p>来年度に文化振興ビジョンを策定する方向で動こうとして</p>

	いるので、皆様からのご意見を頂戴したい。
池田会長	文化振興ビジョンは、博物館協議会や博物館ビジョンの範疇の話ですか？
市橋課長	博物館ビジョンの上位計画となります。
池田副会長	博物館の位置づけを明確にするビジョンがないと、先を見通した計画は立てにくいのでは？ 佐渡博物館も耐用年数を過ぎており、耐震が済んでいない施設もあります。そのような施設をリニューアルする場合、安心・安全な施設が当然求められるので、それに対応できる施策が必要です。文化振興ビジョンの中で博物館の位置を明確にされないと、博物館単独で動くには限界があるように思います。現行施設を活用するとか、新たな建物を建てるとか、そのようなことを言及するビジョンなのでしょうか。
市橋課長	そのような事にも、しっかりと謳うビジョンにしたいと考えております。 池田副会長のお話があった通り、本年度、博物館ビジョンの策定を目指しておりましたが、各施設の位置づけや活用方針が定まりきらないため、文化振興ビジョンでしっかりとした方向性を出していく必要があると考えております。
池田会長	文化振興ビジョンが定まらないと、博物館ビジョンの策定もまた延びる、ということでしょうか。
市橋課長	そのように理解いただきたいと思います。「両ビジョンとも平行して進めては？」というご意見もございましたが、それは厳しいかなと思っております。 来年の3月、佐渡市の総合計画が策定されます。それと合った形で文化振興ビジョンを作りたいと考えておるため、申し訳ございませんがご了承ください。
萩野委員	財政的なことも関わってくることであり、市として今の施設を維持していくか決まらないと、博物館ビジョンもなかなか決まらないのではないのでしょうか。
池田会長	佐渡市にとって、博物館は歴史・文化の中核となる施設だと思えます。ぜひ立ち位置を明確にしていきたいです。 文化振興ビジョンものんびり作ってはいられません。というのも新潟大学の先生が、小学校の校舎を利用し、自分たちで自然史博物館を作ろうとしています。民間の動きを利用しながら、基本的なビジョンを定めてください。
市橋課長	我々も、来年に向けてお話をいたしましたので、本日詳細に詰めるものではございません。今後、色々なご意見をいただけ

	たらありがたいです。
池田会長	それでは、司会を事務局にお返しします。
事務局	5 その他 (要旨) 今後（令和4年度、5年度など）の博物館事業の方向性について、ご意見があったら伺いたい。
池田副会長	来年も益田孝の資料を受け取りに行かれるようですが、今までにいただいた資料はリスト化されていますか？
平野学芸員	担当学芸員が確認し、リスト化しております。そのリストに則り、来年また引き取りに行きます。
池田副会長	貴重、高額なものがある場合、美術品専用車を手配しなくてはなりません。いかがでしょうか。
平野学芸員	今回については、市役所の公用車で引き取りに行きます。
池田副会長	予算措置の時に、美術品専用車も検討する必要があります。博物館が簡易梱包で貴重品を運ぶのは、今後の収集活動にも影響を及ぼします。慎重を期すべきところです。 益田孝は、今後、渋沢栄一との関係で注目を浴びることがあるかもしれません。大事なものは大事に扱うよう、予算措置を考えてください。 別件で、佐渡博物館の常設展リニューアルですが、パネルだけなのか、展示物も入れ替えるのか、いかがでしょうか？展示を動かすというのは、ビジョンがないと出来ないことですので、その点もよくご確認ください。
池田会長	ある市の博物館は、銅製品1つのみでも、美術品専用車を使っていました。また、佐渡博物館で伊藤赤水委員の作品を受け取りに行ったとき、段ボールと毛布だけを持って行って、保険もかけていなかったため、叱られました。 若い学芸員の皆様はあまり経験がないかもしれませんが、美術作品を運ぶときは指導を受け、よく気をつけて運んだ方がよいと思います。市役所の車で引き取りに行くのは、対外的に問題があります。
池田副会長	トキのはく製や陶磁器など、今後出てくるかと思えます。
市橋課長	ご意見を踏まえ、慎重を期していきます。
萩野委員	益田孝の資料を使った企画展などは考えていますか？
平野学芸員	引き取り即公開は難しいですが、令和4年度頃の企画として考えております。
濱崎センター長	益田孝資料は、平成30年度に一度引き取りに伺っています。来年度は佐渡鈍翁茶会も開催予定ですので、そこでも活用がで

	きたらと考えております。
萩野委員	将来、奉行所に展示施設を作るのであれば、世界遺産登録前に展示を作れないのでしょうか。
池田会長	外部資金の活用もお考えください。
濱崎センター長	奉行所の活用は考えておりますが、展示機能を持っていない施設ですので、配置などに苦慮しています。また、相川郷土博物館近くにある名誉町民展示館での展示も検討しています。 しかし、工事中の資料を保管する収蔵場所がなかなか無いので、廃校利用や既存施設の活用も検討しなくてはなりません。
池田会長	火災予防を兼ねて、コンクリート施設をお選びください。
濱崎センター長	検討します。 今後は、博物館協議会の開催時期変更を考えています。その際にまたご意見をお願いいたします。
池田会長	今年の第1回は9月でしたね。
濱崎センター長	はい。新型コロナウイルスの影響があり、遅くなりました。 来年の第1回は早期に開催し、第2回を9月頃、次年度予算決定前に開催したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。
事務局	6 閉会